



摘み取り収穫の場合は、残したわき芽が伸びて、また収穫ができる。わき芽が伸びたら下葉を1〜2枚残し、ハサミで切り取る。

草丈15cmほどに成長したら、抜きとって収穫するか、下から3〜5節のところで摘み取る。

草丈が15〜20cmになったら、下葉を4枚程度残して上を切り取って収穫します。その後残した葉のわきから次々と芽が伸びてくるので、葉を1〜2枚残して収穫しましょう。わき芽を収穫したら追肥をしておきます。

大葉春菊を栽培している場合は、茎がほぼ無いので葉を摘み取るか株ごと抜き取って収穫します。

収穫

全5回コース

農産物栽培年間講習会「ほうさくマスターclub」受講者募集!

家庭菜園の基礎知識などを学ぶ初心者向け講習会「グリーンファームカレッジ」に加え、今年も、さらに一歩先の“販売”を目指す方に向けた年間講習会「ほうさくマスターclub」を開講します。

直売所や市場出荷に興味がある方が対象です。

受講料 全5回分 組合員は無料

※非組合員は年間3,000円となります。
※組合員と同居の家族も組合員とみなします。

講習内容・日程 開催時間は毎回、午後1時30分〜4時頃までとなります。

講習会内容	開催日
①基礎土づくり・基礎農薬防除	2025年 11月21日(金)
②JA出荷品目の紹介・直売所出荷の心得	2026年 1月23日(金)
★個別栽培計画相談	2026年 2〜3月
③土壌診断説明・春の栽培管理・病虫害防除	2026年 4月17日(金)
④夏の栽培管理・病虫害防除	2026年 6月12日(金)
⑤秋の栽培管理・病虫害防除	2026年 7月10日(金)
★総括意見交換会	2026年 9月11日(金)

募集人数 10名 ※全5回の講習会に出席できる方が対象となります。

会場 グリーンファーム中央店 (上田市国分80-6)

申込方法 各地区グリーンファーム店で申し込みを受け付けています。店内に申込書がありますので必要事項をご記入の上ご提出ください。

申込期間 2025年9月16日(火)〜10月17日(金)
※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。当選された方には電話でご連絡いたします。その後、受講料のお支払い等のご案内をいたします。



お問い合わせ先 グリーンファーム中央店(担当:山口、川上)TEL:29-8177

募集対象

1. 直売所および市場に出荷をしたいと考えている方
2. 家庭菜園の基礎知識だけでなく一歩踏み込んだ詳しい内容を学びたい方
3. 畑が空いていて何かやりたいが、何を作ったらいいか悩んでいる方

ほうさくClub! に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665
◎よだくぼ南部店 ☎85-2400 ◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園

ほうさくClub!

第278回
今月は

「シュンギクに挑戦」

★これがシュンギクのスケジュールだよ。Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								種まき	→	収穫	

●施肥基準 (1㎡あたり・一例) ■苦土石灰150g ■堆肥1kg ■BBN552号50g ■BB追肥N30号15g

⚠ 文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



上田地域では「中葉春菊」というシュンギクが一般的です。グリーンファームで販売している種もほとんどがそうですが、「大葉春菊」も取り扱っています。中葉春菊は全国区ですが、大葉春菊は関西以西で好まれていたシュンギクです。中葉春菊は葉の切れ込みが鋭くて香りが強く、伸びる茎を切り取って収穫します。大葉春菊は「菊菜」とも呼ばれ、葉の切れ込みも香りも食感もやわらかで、茎が短く葉が大きいのでホウレンソウのように株ごと収穫します。大葉春菊も鍋料理に使いますが、やわらかで肉厚な葉なのでおひたしやサラダにもよく使います。大葉春菊の方が寒さに弱いですが、上田地域では手に入りやすい春菊なので、家庭菜園で作って食べ比べるのも楽しそうですね。

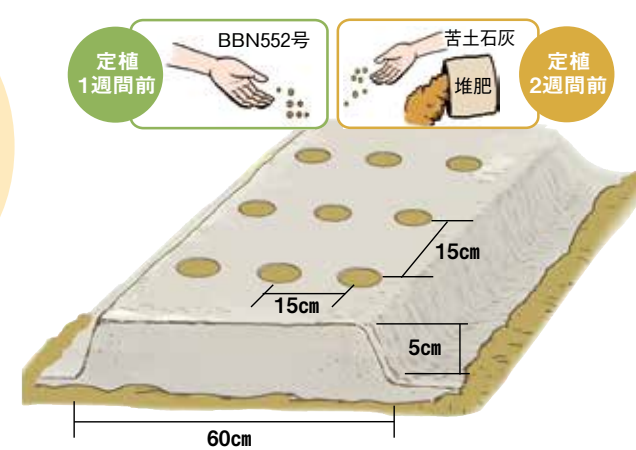
畑の準備・種まき

定植の2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料を撒いてよく耕しておきます。畝は幅60cm、高さ5cm程度に作ります。株間15cm、条間15cmで種まきするので、玉ねぎマルチを使うと便利です。マルチを張る前にしっかりと畝を湿らせておきましょう。一穴に6粒程度ずつ播き、種が隠れる程度に薄く土をかけて手で押さえます。乾燥予防のため不織布をべたがけしてたっぷり水やりをします。不織

間引き・追肥

本葉が出始めたら最初の間引きをして3株にします。本葉が6枚くらいになったら1〜2株にして、追肥します。乾燥に弱いので土が乾いたら水やりしましょう。

乾燥防止のため不織布はしっかりとべたがけしましょう。土が乾いたら水やりを忘れずに。



布は発芽したらすぐにはずし、防虫ネットでトンネルを作ります。